

はじめに

金沢工業大学の派遣留学プログラムでは、8月から翌年の5月までの1年間という仕組みとなっていますが、英語力の不足と少しでも長期間現地に滞在するため、6月5日に渡米し、英語学校である、IEI(Intensive English Institute)での英語力向上を図りました。現在はIEI修了の後2週間程の休みを経て、イリノイ大学コンピューターサイエンス学科で講義を受講しています。

本報告書ではIEIでの活動、現地での生活、現在の履修科目について記させていただきます。

IEI (Intensive English Institute)

IEIでは様々な国から様々な目的を持った学生が英語を勉強しています。IEIはインターンシップ生の経験の場でもあり、私たちがサポートしてくれるのは現地の学生ということが多いです。講師もまた一部を除いて修士課程の学生ということもあります。授業自体は全て英語ですし、確かに難易度はありましたが、学生へのサポートも手厚く、わからないことがあればどれだけ時間がかかっても教えて頂けます。

活動としては、講義開始前の一週間、チュートリアルとして、キャンパス内の案内、買い物、交通機関の利用、生活における注意点、また、必要に応じて銀行口座の開設などをサポートしていただけます。授業開始後は、授業外においても学生が英語に触れる機会を増やそうと、毎週金曜日にイベントを設けています。私もほとんどのイベントに参加し、多くの友人を作り様々な場所に行きました。アジアからは中国、台湾、韓国、タイ、サウジアラビアやイエメンなど、アメリカ大陸ではコロンビアやスペインなどです。

人種や出身国、宗教の違いから、日本では巡り会うことが難しい、様々な経験ができました。



図 1 IEI Welcome BBQ



図 2 IEI Final Reception

現地での生活

IEIで授業を受けていた2ヶ月の夏学期間、日本との違いに慣れるまで、想定していたよりも苦労しました。

身の回りの準備などは、金沢工業大学に留学していた現地の学生のサポートがあり、とてもスムーズに行きました。しかし、一人で何か行動を起こす際には、やはり不安や戸惑いが生じます。

現地についてすぐの頃、ネイティブの英語を聞き取るのが大変でした。喋る速さ、省略などで短くなる文章、金沢工業大学の先生達が如何に優しい英語を用いていたのかが、初めてわかりました。相手の喋っている内容が聞き取れても、思っていることが言葉

にできないという、もどかしさにも捉われました。しかし、これも生活しているうちにある程度慣れてきます。相手に思いが伝わるようになってくると、英語力の向上を実感できました。

しばらくの生活の後気付いたことがあります。アメリカに限らずとも、世界では多言語を扱えることは、たいして珍しいことではないということです。3 言語扱えるという人も珍しくありませんでした。日本にいた頃とは見えている世界が違うのだと実感できます。

現在の履修科目について

今学期履修している科目は、
CS225 Data Structure
CS427 Software Engineering
CHIN201 Elementary Chinese I

の三科目です。

以下に講義内容について記します。

CS225 Data Structure

コンピュータサイエンスに於ける重要要素である、データ構造を学びます。C++を用い、ヒープ領域とスタック領域を駆使し、データの解析、構築を行うのですが、私自身C++は苦手言語なので講義内容は非常に難しく感じます。現在も課題を行っているのですが、一人でやるのには限界を感じます。現地の学生にも厳しいようで、この科目自体はコンピュータサイエンス学科に於ける篩の役割を担っているとのこと。ただ、これらの知識は必ず生かされるものだと確信を持って言えます。金沢工業大学の講義では学べなかった多くの知識を吸収できています。この経験を持ち帰る事が出来るのは喜ばしく感じますので、今後も努力を惜しまず勉強に励みます。

CS427 Software Engineering

社会に出て働く際に、プロジェクトを円滑に進める方法を学びます。ウォーターフォール開発やアジャイル開発など、現在実際に行われている手法です。Javaを用いた開発が主ですが、ペアでの開発、仮想的なプロジェクト案のディスカッションを行います。400 番台という事もあり3年生から4年生にまたぐ講義です。周りの学生たちの経験量や知識量は凄まじく、自身の経験の浅さが身にしみます。科目の後半になるとチームでの開発を実際に行います。知識の吸収を目指し今の内から心構えをしています。

CHIN201 Elementary Chinese

初級中国語の講義です。Pinyinの発音から徐々に段階を踏み文法や単語を学びます。もともと中国語に興味があったことと、イリノイ大学の留学生のうち約13%が中国からということもあり、受講してみようと考えました。発音などは難しく、スピーキング、リスニングに苦勞しますが、文法は英語に近く、漢字も繁体字を使用するので親しみやすいです。やはり現地の学生には難易度が高いようで、漢字に苦勞している姿がみられます。私も最初は苦勞するのかなと思ったのですが、思った以上に理解できるので、厳しいCSの授業のリラックスになっていると感じます。

これら以外にも受講しようとしていた講義があったのですが、交換留学生に対する履修の制限が多く初学期はこれらに止まりました。来学期受ける講義も目星をつけていますので、それらに向けての前提知識として現在の科目を学ぼうと考えています。



図 3 U of I Welcome Event



図 4 CS427 の講義

室

おわりに

この4ヶ月の間に、渡米以前では想像も出来なかったような経験をしました。英語力の上達も日々実感しています。思い返すともう4ヶ月経ってしまったのかと惜しくも感じます。残りの8ヶ月はさらに濃い日常を送れるよう、積極的な行動、勉学を心がけます。

以上で9月分の報告とさせていただきます。